

清光学園

第 21 号

児童養護施設 清光学園
園長 佐々木 賢三
岩手県花巻市石鳥谷町
北寺林十一一六八―六五
電話番号
〇一九八・四五・五一七三
発行日
平成二十五年三月二十三日



節分行事で「鬼は外、福は内」



園長

佐々木 賢三

昨年の四月から清光学園に勤務している園長の佐々木賢三と申します。学園の活気あふれる雰囲気と園児の笑顔に力を得て、やりがいのある日々を過ごしています。

一年間勤務してみて、世の中には、善意の方々が沢山おられることを知りました。子ども達を励まそうとクリスマス会を開いて下さった団体、子ども達に「食べさせて下さい」とお菓子や野菜、米などを届けてくれた住民、「何かのお役に立てて下さい」と寄付金を送ってくれた事業所など、県内外の皆様から多数の有り難いご支援を頂きました。園児・職員一同、大いに勇気づけられています。

さて、今、社会的養護の一環として、全国的に施設の小規模化が進行しています。学園でも、現在の五十人定員の大舎制から小規模

化に向けた取り組みが始まるようになっていきます。

概要は、新棟を改築して、二つのユニット（生活空間）を作り、ユニット毎にリビング兼食堂、児童居室（原則個室）、職員宿直室、トイレ、キッチン、風呂場等を配置し、六人八人の児童が共同生活を送るものです。利点として、児童居室が個室のため、プライバシーが保障されること、児童数が六人八人と少ないため集団生活によるストレスが少なく、一般家庭に近い生活が送れること等があげられます。

現在の学園本体は大舎制のため、児童居室には三〜四人が雑居し、風呂場も洗面所も四十三名が共同で使用しています。それに比べれば、小規模施設は格段に恵まれた夢のような環境と言えます。施設の子も達が快適に過ごせるよう、実現に向けた取り組みが一日も早く始まることを願っています。

清光学園は、「子どもの最善の利益のために」という社会的養護の基本理念を体し、園児の幸せのためにより一層の努力を重ねて参りたいと思っておりますので、関係の皆様方のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

貸借対照表

平成24年 3月31日現在

第5号様式
(単位：円)

| 資 産 の 部 | | | | 負 債 の 部 | | | |
|------------|-------------|-------------|------------|--------------|-------------|-------------|------------|
| | 当年度末 | 前年度末 | 増 減 | | 当年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 流動資産 | 27,019,334 | 24,569,895 | 2,449,439 | 流動負債 | 9,371,219 | 8,910,615 | 460,604 |
| 現金預金 | 25,995,218 | 22,321,275 | 3,673,943 | 短期運営資金借入金 | | | |
| 現金 | 47,319 | 47,600 | △281 | 未払金 | 5,956,809 | 6,636,973 | △680,164 |
| 普通預金 | 21,447,899 | 17,773,675 | 3,674,224 | 預り金 | 3,414,410 | 2,273,642 | 1,140,768 |
| 定期預金 | 4,500,000 | 4,500,000 | | 健康保険 | 1,016,260 | 670,999 | 345,261 |
| その他の現金預金 | | | | 厚生年金 | 1,551,786 | 1,023,007 | 528,779 |
| 有価証券 | | | | 失業保険 | 112,060 | 110,034 | 2,026 |
| 未収金 | 805,970 | 2,248,620 | △1,442,650 | 所得税 | 426,779 | 268,802 | 157,977 |
| 貯蔵品 | | | | 町県民税 | 213,000 | 200,800 | 12,200 |
| 立替金 | | | | 退職共済 | 94,525 | | 94,525 |
| 前払金 | 218,146 | | 218,146 | その他の預り金 | | | |
| 短期貸付金 | | | | 前受金 | | | |
| 仮払金 | | | | 仮受金 | | | |
| その他の資産 | | | | その他の引当金 | | | |
| 固定資産 | 134,665,238 | 134,437,176 | 228,062 | 流動負債 | | | |
| 基本財産 | 54,089,751 | 55,978,020 | △2,888,269 | 固定負債 | 15,727,495 | 14,692,595 | 1,034,900 |
| 建物 | 53,089,751 | 55,978,020 | △2,888,269 | 設備資金借入金 | | | |
| 土地 | | | | 長期運営資金借入金 | | | |
| 基本財産特定預金 | 1,000,000 | 1,000,000 | | 退職給与引当金 | 15,727,495 | 14,692,595 | 1,034,900 |
| 減価償却累計額 △ | | | | その他の引当金 | | | |
| その他の固定資産 | 80,575,487 | 77,459,156 | 3,116,331 | 負債の部合計 | 25,098,714 | 23,603,210 | 1,495,504 |
| 建物 | 2,094,222 | 2,191,110 | △96,888 | | | | |
| 構築物 | | | | 純資産の部 | | | |
| 機械及び装置 | | | | 基本金 | 1,000,000 | 1,000,000 | |
| 車両運搬具 | 1,710,910 | 1,467,048 | 243,862 | 基本金 | 1,000,000 | 1,000,000 | |
| 器具及び備品 | 10,424,240 | 8,489,783 | 1,934,457 | 国庫補助金等特別積立金 | 22,648,405 | 23,671,671 | △1,023,266 |
| 土地 | | | | 国庫補助金等特別積立金 | 22,648,405 | 23,671,671 | △1,023,266 |
| 建設仮勘定 | | | | その他の積立預金 | 50,018,620 | 50,018,620 | |
| その他の有形固定資産 | 600,000 | 600,000 | | その他の積立預金 | 50,018,620 | 50,018,620 | |
| 減価償却累計額 △ | | | | 人件費積立預金 | 13,500,000 | 13,500,000 | |
| 権利 | | | | 修繕積立預金 | 16,518,620 | 16,518,620 | |
| 投資有価証券 | | | | 備品等購入積立預金 | 20,000,000 | 20,000,000 | |
| 長期貸付金 | | | | 次期繰越活動収支差額 | 62,918,833 | 60,713,570 | 2,205,263 |
| 公益事業会計 | | | | 次期繰越活動収支差額 | 62,918,833 | 60,713,570 | 2,205,263 |
| 元入金 | | | | (うち当期活動収支差額) | 2,205,263 | △2,200,531 | 4,405,794 |
| 収益事業会計 | | | | | | | |
| 繰越特定積立預金 | 50,018,620 | 50,018,620 | | 純資産の部合計 | 136,585,868 | 135,403,861 | 1,181,997 |
| 人件費積立預金 | 13,500,000 | 13,500,000 | | 負債及び純資産の部合計 | 161,684,572 | 159,007,071 | 2,677,501 |
| 修繕費積立預金 | 16,518,620 | 16,518,620 | | | | | |
| 備品等購入積立預金 | 20,000,000 | 20,000,000 | | | | | |
| 退職給与積立預金 | | | | | | | |
| その他の積立預金 | | | | | | | |
| その他の固定資産 | 15,727,495 | 14,692,595 | 1,034,900 | | | | |
| 県共済退職預け金 | 15,727,495 | 14,692,595 | 1,034,900 | | | | |
| その他の固定資産 | | | | | | | |
| 資産の部合計 | 161,684,572 | 159,007,071 | 2,677,501 | | | | |

今年度より五名の子も達が石鳥谷野球スポーツ少年団に入団して活躍しています。

以前から少年団の存在を知り、

「やってみたい」という声

も子ども達からあがって

り、保護者の方から活動状

況などの情報を頂きながら

入団についての検討を重ね、

子ども達の意欲を尊重し、

今年度から入団すること

なりました。

平日週一回のナイター練

習に加え、夏場は土日も試合や練

習があり、冬場も体育館での基礎

トレーニングや体力作りを行って

います。子ども達の「野球が大好

き」という言葉通り、練習や試

合のある日は早起きをしたり、自



分てユニフォームに着替えたり等「自分たちでしっかりと準備をする」という気持ちが出てきています。

練習では大きな声を出してボールを受けたり、バッティング練習やキャッチボールをしたり、仲間と声を掛け合い、励まし合いながらさわやかな汗を流しています。



年少で巨人・中日戦を観戦しました

地域の皆さんに受け入れてもらい、有意義なスポ少活動が出来ていることに心から感謝いたします。

平成二十四年度の球技大会において、当学園小学生ソフトボールチームが二度の優勝に輝きました。

国立岩手山青年の家で行われた

大船渡市長杯球技大会と岩手県立

大学で行われたBB

S球技大会でした。

どちらの大会でも見

事な連携で勝利を納

めることが出来まし

た。

優勝に至るまでの

道のりは決して平坦



ありません。学校から帰ってきたら宿題を終わ



らせ、すぐさま園庭に出てキャッチボールやノック練習を行う日々が続きました。

なものはなく、メンバーみんなの頑張りがあったことは言うまでもなく、メンバ

たが、子ども達が主体的かつ、意欲的に取り組むことが出来たことがこのような結果につながりました。今後とも温かいご声援をよろしく願っています。

春

春の行楽
行事で残

雪の八幡平へ行ってきました。四月下旬なのに一面の銀世界と寒さにみんな驚いて来ました。

朝食は八幡平リゾートホテルでのおいしいバイキングを頂き、思い思いのご馳走をおなかいっぱい存分に食べ、温かい八幡平の温泉にも入り癒されてきました。



四月一日は学園恒例

の創立記念日です。

みんな
で体育館
に集まり



創立記念式典を行います。子ども達の関心事はその後の「ホーム編成」の発表です。

園長からホーム発表があり、一年間、どこの居室になるのか、誰と一緒に部屋になるのか、「どの職員の担当になるのか」「ワクワク、ドキドキの瞬間です。

発表後の一斉の居室移動。沢山の荷物廊下に溢れ、手際よく居室を片付けながら、自分の「場所」を築き上げていきます。朝食は毎年来ます。



今年夏の大行事は、「青森一泊旅行」です。昨年までは各グループ毎に分かれて行って行きました。

が、今回はみんな揃って行きました。大型バスに乗り、高速道を北に向けて向かった先は「青森県立三沢航空科学館！」。目の前の三沢空港から飛び立つ飛行機にまず感動。そして科学館に展示してある飛行機に更に感動。様々な展示物や体験出来る乗り物などに興味津々で時間が経つのも忘れ見学に夢中になりました。

その日の宿泊先は星野リゾート青森屋。各担当毎に客室に入りのんびりと過ごしたり、温泉を満喫したり。学園の仲間と温泉旅館に泊まるのは今年が初めて、という子が殆どであり、かなり印象に

残ったよ
うでした。
翌日は

夏

車窓に種差海岸を見ながら、更にその先の白浜海岸へ。海の水が少し冷たいながらも海水浴を楽しみ、美しい白浜に子ども達の歓声が元気に響いておりました。



青森屋での夕食。カラオケも楽しみました

年度事 これ

秋

まことこの園雨が残念です。いたく庭でおいしく頂く。来た。

秋の行楽行事として「野外炊事」を行います。いつもは近くの戸塚森森林公園で行いますが、前夜から降り続いた雨のため今年には学園で行いました。食堂で各グループ毎に食材を切り、調理は学園の調理場をお願いしました。例年はグループ毎に味噌や醤油、それぞれの味が付けたが、今年は一つ一つの味だけだったのが残念です。



僕の切った人参、どれかなあ〜

学園ではスポーツ大会を行います。ウオークラリーやフリースロー大会を行ったりと毎年様々な種目を考えて実施していますが、今年には「マラソン大会」を実施しました。豪華景品？を目指し必死に頑張る子ども達、顔を歪めながらも最後まで完走した子ども達。職員も必死になりました。一緒に完走しました。マラソン大会には民生委員・児童委員の方々に参加してもらい、子ども達に大声援を送りました。



H24 行あれ



「今年もその一つ。正月の行事です。大切ないきなり今年も体育館の天井に届きそうな大きなミズキの木が体育館に運び込まれました。白、緑、ピンク...、三色の色が付けた団子を子ども達が一っつ一っつ丁寧に丸めていきまます。丸めた団子が茹で上がるまで、百人一首などをして楽しむことができました。最後に団子をミズキの枝に刺して、ミズキの香りがする木製の飾りを作りました。鮮やかな色に、咲いた花が、ようやかに、まじりかた。

学園の近くには谷アリイ、スアリイ、アリスのアイスアリーナまで歩いて行き、スケートを楽しんでみました。小学校でもスケートをする機会もあるため、子ども達は殆どの子がスケートが出来ます。初めてやる幼児さんにも、何度かやる幼児さんにも、立ち上がったり、挑戦してしまいます。雪国岩手の冬。冬の寒さに負けることのないように、丈夫な身体を作ります。元気に戸外遊びもしたいです。



冬

清光学園には「児童会」という組織があります。学園内の子ども達で組織しているものであり、子ども達の中から会長や副会長、書記が選任され、その役員を中心に児童会活動をしています。

清光児童会 再起動

毎月の生活目標を定めたり、生活の振り返りをしたり、生活していく上での改善点や要望などが出され、職員からの連絡事項が伝えられる。…、今までの児童会はこのような流れでした。が、しかし、今年度の児童会活動は今までとは一味違います。学園の生活の主体は子ども達であり、その子ども達で組織する児童会を活性化させることが、子ども達が学園生活をより主体的に捉えるきっかけになるのではないかと考え、より子ども達が直接児童会活動に関わる機会を増やせるようにとそれぞれ「部」を作りました。職員が自分の得意な分野、興味ある分野、子ども達に与えて見たい分野などを考えて部を作り、子ども達が希望により入部するというスタイルです。ここで「部」を紹介します。

- ① 値段調査部 (スーパーなどで物品の値段を調べます)
 - ② ゴミ部 (ゴミの分別やゴミの処理を行います)
 - ③ 人命救助部 (いざというときに役立つ応急法などを学びます)
 - ④ 公共料金調べ部 (学園の光熱水費を調べて掲示します)
 - ⑤ 自然お楽しみ部 (観望会など自然に触れあう活動をします)
 - ⑥ ブック整理部 (図書の整理などを行います)
 - ⑦ 心の静養部 (日常の雑多な生活から離れ心の安定を目指します)
 - ⑧ 家電修理部 (壊れた家電の修理を試みます)
 - ⑨ 節電節水部 (節電節水を呼びかけ節約を促します)
 - ⑩ 簡単クッキングサークル (簡単にできる料理を作ってみます)
- 今後、更に活発な活動が期待されます。

平成二十三年度より小規模グループホーム「明光園」を開設しています。

本園より徒歩3分程の同じ地域内の一軒家を借りることが出来、町内会や子ども会の所属も変わることなく、地域の皆さんのご支援を頂きながら順調なスタートを切ることが出来ました。

現在、小学生三名、中学生一名、高校生二名が



小規模グループホーム 明光園

職員と共に生活しております。

一軒家での少人数生活ということで、限りなく一般の家庭生活に近い暮らしが出来ると意識して日々の暮らしを送っています。大きな行事等は本園と合同で行っていますが、その他はグループホーム独自で様々な行事などを企画・実施しています。

朝食の準備をしている音で目覚め、間近で調理をしている様子を見たり、配膳や掃除を手伝ったり…、そんな一般家庭のごく普通の流れを体験する中で子ども達の生活力を養い、自立に向けた手厚い支援をしていきます。



ハートアライズ様

ハートアライズ様からはいつもたくさんのご支援を頂いています。

今年は子どもたちが学習をしたり、テレビを見たりする「自習室」で使えるようにと、木製の長いすを寄付して下さいました。

前回は食堂に全員分の木製の丸イスをいただき、快適に使わせて頂いています。

今回の長いす贈呈にあたり、当学園クリスマス会の場で子どもたちを紹介しようと言ったことになり、三

名の方に来園して頂き、一緒にクリ



川様はじめメンバーの方に心より感謝申し上げます。



スマス行事を楽しんで頂きました。子どもたちの出し物に加え、ハートアライズ様の「ソールラン」も披露して頂き、大盛り上がりの中サンタ登場となりました。メンバーの石川様にはいつも学園に足を運んで頂き

ありがとうございます 温かいご支援に感謝!!



NTDドコモ東北支社様より今年も多額のご支援を頂きました。盛岡支店副支長高倉裕行様が来園され、当学園佐々木園長に目録を贈呈しました。

子どもたちのために有効に使える物を...、と言うことで、今までは中学生や高校生が通学などで使用する自転車等を購入させて頂いております。

子どもたちが必要としている物はたくさんありますが、今年も検討させていただきながら、有効に活用させて頂きたいと思っております。

NTDドコモ様からは毎年のようにご寄付を頂いております。ありがとうございます。

クリスマスツリーが送られました

今年のクリスマスにとっても大きなクリスマスツリーを届けて頂きました。神戸から遙か遠い岩手の地まで来て頂き、子どもたちと一緒に飾り付けまでして頂きました。

学園にいらして頂いたのはメリーツリープロジェクトの三名の方です。飾り付けの作業をしながらたくさん子どもたちと触れあって頂き、色々なことを教えていただくことが出来ました。



大陽学舎

ないてしょうか。

した。神戸もやはり大きな地震での災害を経験した街であり、一人ひとりの助け合いの大切さ、人の心の温もりが子ども達にも伝わったのではないで

震災のあった年、メッセージと共にヒマワリの種が学園に届きました。鹿児島県にある児童養護施設、大陽学舎の皆さんが摘んだヒマワリの種でした。

今年の夏、背丈をはるかに超えた大輪が陽を浴びています。送っていただいた「絆ひまわり」がすくすく成長するように、子どもたちも元気に過ごしています。

遠く岩手の地にエールを送っていただいた大陽学舎の皆さん、ありがとうございます。



まごころ



平成二十四年度に頂きました沢山の
寄付、ご慰問、ご招待を紹介致します。

皆様の温かいご支援に
感謝申し上げます。

ご寄付

菅原幸子様(花巻市)、マルハン北上店様、鈴木康子様(東京都)、高橋様(花巻市石鳥谷町)、小原誠子様(北上市)、(株)ファンライフ様、手塚プロダクション様、藤原玲子様(花巻市大迫町)、小田島節子様(花巻市東和町)、シャントイ国際ボランティア会様、高橋洋子様(矢巾町)、加藤佐知子様、佐々木様(花巻市大迫町)、鎌田眞智子様(花巻市)、高橋千枝子様(花巻市大迫町)、白石食品様、キッズドリームパートナー様、佐藤様(花巻市石鳥谷町)、高橋正克様(花巻市大迫町)、ハートアライズ様、小坂直樹様(石川県)、大沼由佳様(宮城県)、松本史代様(栃木

県)、島辰様、高橋シヨウイチ様、伊藤様(花巻市)、三宅加奈子様(岡山県)、大隅学舎様(鹿児島県)、疋田晶子様(紫波町)、KIPプロジェクト様、山本篤雅様(栃木県)、照井恵美様、鎌田清子様、岩瀬哲也様(名古屋市)、(株)ユニクロ様、仲良しサークル様(福岡県)、ワールドメイト様、国吉文子様(花巻市石鳥谷町)、キャロル上峰店様(佐賀県)、日本鏡餅組合様、(株)安田様、堀田様(神奈川県)、七折農園様、毎日新聞様、NTTドコモ様、熊澤清子様(千葉県)、齊藤恵里奈様(花巻市)、齊藤正七郎様(群馬県)、高橋愛弓様

他に匿名の方より多数のご寄付を頂きました。又、当学園花火大会など行事の折などに関係者、業者の皆様より多大なご支援を頂きました。誠にありがとうございました。

ご招待・ご慰問

焼肉ヤマト様・やまなかや北上店様・村山崇様、石鳥谷ライオンズクラブ様・イオン盛岡南ショッピングセンター様・メリーツリープロジェクト様



ゆり Lily 百合

ユリ目ユリ科のうち主としてユリ属の多年草の総称。北半球アジアを中心として広く分布。森林や草原に自生することが多い。日本では秋植えの球根草として扱われる。食用としてユリ根が用いられ、薬用としては球根が滋養強壮や鎮咳に用いられる。

当学園の児童居室には草花や樹木の名前がついており、実物を子ども達が目に見えるようにと園舎周辺に植えています。順次ご紹介します。

編纂後記

震災から二年が経とうとしており、子ども達の記憶の中から少しずつあの時の経験が薄れつつあると感じます。停電の中、みんなが寄り集まって就寝したこと、みんなが協力し合い暖をとるための薪を切ったこと、食べ物も残食なく、少しの物と大切に食べたこと、等々。しかし、大雪が降った朝、力を合わせて除雪の手伝いをしてくれる姿、行事などみんなが力を合わせて何かを成し遂げようとする場面で子ども達のパワーと連携の強さを感じます。あの時の経験で育まれた絆の心はお互いと思いやる気持ち、助け合う気持ちという形で子どもたちの心に残っているのではないかと思います。